こすもす

京都市中京区
壬生仙念町30-2
ラボール京都5F
TEL:813-2028
FAX:813-2048
kyoto-hyuman.u
@labor.or.jp

２月の相談から

＊　保育所　健康問題　４０代女性　病気明けのリハビリの必要性。集団と個人のありよう。自信回復の難しさ。

＊　特養　介護職女性３０代　“労働条件ひどい。入ったときからおかしかった。下手に動いてくびになりたくない。”＜本人電話考慮中。＞

＊　保育所　５０代女性　もと組合あり。いま組合の無い職場。“病気で休んでいて退職をおもつている。退職にあたりどんな制度を使えるか。”制度の話しと慰留もすすめる。再び組合づくりを進める。

＊　団体女性　労災で休職中。労災中の賃金問題についてく関係組合に連絡＞。職場の仲間との付き合い方。

＊　他府県男性　大企業　定年前のはたらかせかた。“賃金が下がり、1週間おきの仕事の仕方になってる。おかしくないか。”このごろの企業のあり方と基本的な考え方とその地方の労働相談センターの紹介する。

＊　保育所20代女性　“労災・傷病手当使った。これからの生き方。食べるためにどうするか。”病気が治ったら、生活保護を経営側に進められたが、まず働かれることを勧める。

＊　保育所　府内女性２０代　“みんなパート　有休がとれないどうしたらよいか。”基本的な考え方と、遠いのでその地域の地区労協労働センターを紹介。

＊　保育所４０代女性　子育て問題　登校拒否

＊　医療法人６０代女性　職場の人間関係と働かせ方。組合作りと本音で物言える職場作りの話し。

＊　商売関係の職場　２０代男性　無茶な働かせ方　＜本人電話考慮中＞

＊　金属関係の職場男性　組合紹介する

＊　医療法人　２０代男性　人間関係　いじめ異動を希望したがきいれられず。苦しんで自分に責任あると思いこみ、希望なくし生きていく展望なくし病気になる。悩みを打ち明けるところがなかった。無口な人。一人で抱えておられた。思い切り話しを聞き、病院と連絡とって通院勧める。本人と家族との話し合いも進める。医者に行き落ち着かれた様子。組合を紹介したので、元気になられたら異動問題含め、組合づくりすすめる。しんどくなればここにくる約束をしている。“がんばらなくていい、まず病気を治すことが大切”の声かけをした

去る２月17日に、08年度第３回の「福祉職場フェア」がありました。「派遣切り」「非正規切り」などと言われ、雇用不安がひろがっている中、京都労働局、ハローワークと京都府、京都府社協が共催して行われたものです。

来場者は439人、うち学生が173人、社会人が208人、その他（学校関係者など）58人となっており、社会人のうち無職の方が124人だったそうです。

求人票を見ると、介護職の正規職員募集で賃金が13万円台、14万円台が多く、高いところでも16万円台、改めて、福祉や介護労働者の低賃金の実態を見た思いです。

福祉や介護労働者の賃金・労働条件の改善なしには、福祉の人材確保はままならないし、働き続けることは困難です。ぜひ力をあわせて改善に向けて取り組みをすすめる必要を痛感しました。

同時に、福祉や介護で働く労働者が賃金や労働条件、働く環境に大きな不満と不安をいただかざるを得ず、労働組合の役割、労働相談の必要性も痛感しました。（Ｙ）

目線

生まれ育った近くの神社では梅が真っ盛り、そこは学問の神様で、この時期合格祈願の絵馬がかけられる。一方で私立高校の授業料滞納者が2.7%、実に2万4千人を超え、今年度末には2千5百人から3千人の退学者が出ることも予想されるという。厚生労働省の調査では、非正規労働者の失業が昨年10月から今3月にかけて15万7800人に達し、しかも実数はこれより多いという。雇用の格差が経済的格差につながり、貧困を生んでいる。

今年は梅の開花が早かったようであるが、この子達に春は果たしてくるのかと思うとやるせない気持ちになる。政府の対策は、相変わらず企業それも大銀行・大企業向けの景気対策・雇用対策が目立つ。給食費が払えない家庭の増加も問題になっている。雇用問題を起点とする貧困が子供たちから未来を奪おうとしている。雇用格差が経済的格差を生み、それが能力格差となる社会は変えなければならない。国民一人一人の生活を支える対策が緊急に求められており、政治は大きな責任を感じなければなるまい。